



第24号 2022年4月



第24号にあたって

長い冬も終わりようやく桜咲く春がやってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の第6波は収まっておらずオミクロン変異株の流行も心配されています。4月は、新入学、就職、異動などで環境が変わる時期です。感染予防に加え、規則正しい生活、バランスのとれた食事、十分な睡眠、適度な運動、ストレス発散などで早く新しい環境に慣れるようお願いします。今回は、病気の知識として「尿路感染症（膀胱炎、腎盂腎炎）」と「心不全」を取りあげました。ご協力いただいた窓口アンケートの結果とQ&Aに「診察の順番や待ち時間について」を掲載しました。最終ページには、診療時間、交通アクセス、救急疾患検索サイトのアドレス（QRコード）などが掲載されていますのでご利用下さい。



マイナンバーカードの健康保険証利用について



- ・マイナンバーカードの健康保険証利用が、急患診療センターで4月1日からできるようになりました。利用にあたって下記の点に注意して下さい。
- ・マイナンバーカードの健康保険証利用には、①マイナンバーカードを取得し、②その後健康保険証利用の申込みが事前に必要です。健康保険証利用の申込みには、マイナンバーカード読取対応のスマートフォン（または、パソコン+ICカードリーダ）を使っての手続きが必要になります。詳しくは、厚生労働省のホームページ等をご覧ください。
- ・マイナンバーカードを利用する場合でも、こども医療費助成受給者証、高齢受給者証、限度額適用認定証等も併せて持参して下さい。
- ・マイナンバーカードの暗証番号（利用者証明用電子証明書用で数字4桁）が必要になる場合があるので、受診前に確認してきて下さい。
- ・当面は、できましたら念のために健康保険証も持参するようお願いいたします。

病気の知識

尿路感染症（ぼうこうえん膀胱炎、じんうじんえん腎盂腎炎）

“女性に多くみられます！”

【尿路とは】

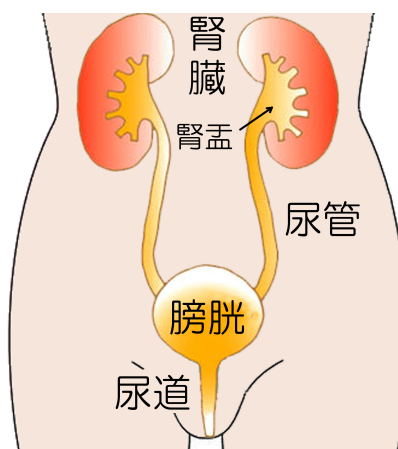
尿は左右2つある腎臓でつくられ腎盂^{じんう}という場所に集められ、尿管という細い管を通して膀胱にたまり、尿道を通して体外に出されます。この尿の通る道を尿路と言います。（右図）

【尿路感染症とは】

本来細菌のいない尿路に細菌が増えて炎症をおこしたものを尿路感染症といい、膀胱炎と腎盂腎炎がよくみられます。細菌が尿道から入り、膀胱に達すると膀胱炎をおこし、さらに細菌が尿管を上って腎盂に達すると腎盂腎炎をおこします。

【急性膀胱炎】

- ・一般に、膀胱炎といえば急性膀胱炎のことを言います。
- ・膀胱炎のほとんどは、尿道から侵入した細菌（多くは大腸菌）の感染が原因で起こります。
- ・女性は尿道が短く、肛門や膣が尿道の近くにあるため不潔になりやすく、細菌が侵入しやすいことから、女性に起こりやすい病気です。
- ・症状としては、尿をした時の尿道や膀胱の痛み、とくに排尿終了時の強い痛み（排尿痛）、尿の回数が多い（頻尿）、排尿後も尿が膀胱に残っている感じがする（残尿感）、尿が濁る（尿の混濁）、下腹部の不快感、炎症が強いときの血尿などがみられます。発熱は通常みられません。



- ・通常、血液検査やX線検査では異常は認められず、臨床症状と診察、尿検査で診断されます。
- ・治療は、抗菌薬を3日から1週間程度内服します。
- ・治療中は十分な水分摂取を心がけ、尿量を増やすようにします。
- ・くり返したり、治りにくい場合は、泌尿器科で基礎疾患の有無を含めた精査が必要です。



【急性腎盂腎炎^{じんうじんえん}】

- ・腎盂腎炎は、腎盂および腎臓に細菌が感染して起こる病気です。
- ・細菌が尿道から膀胱、さらに尿管を上って腎盂に達し、腎盂内で細菌が繁殖し腎臓にまで炎症が及んだものを腎盂腎炎といいます。基礎疾患のない急性腎盂腎炎の多くは、尿が膀胱から、尿管へと逆流する「膀胱尿管逆流」現象によって引き起こされる上行性感染が原因と考えられています。
- ・腎盂腎炎を繰り返す場合には、基礎疾患（前立腺肥大症、神経因性膀胱、尿路結石、糖尿病など）の有無を精査する必要があります。
- ・症状としては①高熱、②背中や腰・わき腹の痛み、③尿の濁りなどの膀胱炎症状がみられ、重篤になる場合もあります。腎臓は背中側で背骨の左右にあるので、炎症をおこしている側の背中を叩くと痛みます。
- ・治療としては、適切な抗菌薬を使用しますが、悪寒や震えを伴う38度以上の発熱や脱水、全身的な重症感がある場合は入院治療となり、抗菌剤の点滴や輸液治療が必要になります。
- ・症状が改善しても慢性化しないために、治療は最後まできちんと受けることが大切です。



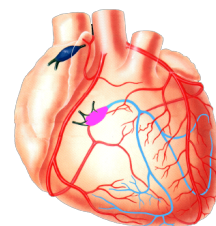
- ・発熱のない膀胱炎の場合は、通常の時間帯に医療機関を受診して下さい。
- ・膀胱炎症状の他に悪寒や震えを伴う38度以上の発熱や腰背部痛、全身的な重症感がある場合は至急医療機関を受診して下さい。

心不全

“動いた時の息切れ・呼吸困難は注意信号！”

【心不全とは】

- ・心臓は、酸素と栄養を運ぶための血液を全身に送り出し、戻ってきた血液を再び送り出す循環ポンプの役目をしており、1日約10万回休みなく動いています。
- ・心臓の動きが不十分になると、心臓から送り出される血液量（心拍出量という）が少なくなります。その場合、人間の体は心臓から送り出される血液量を保とうとする結果、体に負担がかかり、「心不全」という状態になり、いろんな症状が出現します。
- ・このように、心不全とは、病名というより、「心臓の動きが不十分な結果、起きた体の不具合の状態」を言います。
- ・急性心不全とは、心臓の動きの低下が急に起こってきた場合をいい、慢性心不全は徐々に起こってきた場合を言います。
- ・超高齢社会となった日本では心不全患者は増えており、全国で約120万人、2030年には130万人に達すると推計され、がん患者以上になるとも言われています。



【原因】

- ・心不全の原因としては、狭心症や心筋梗塞、心臓弁膜症、心筋症、先天性心臓病、高血圧、不整脈などいろいろあるので、医療機関での精密検査が必要になります。

【症状】



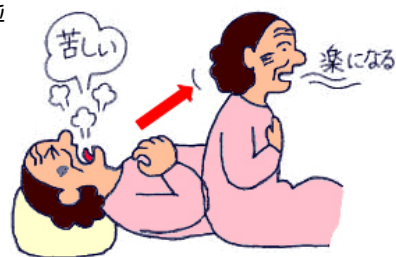
- ・大きく分けて、①心臓から送り出される血液が少ないためにみられる症状と、②血液の流れが悪くなることにより、肺や全身に血液が溜まる（うっ血）による症状があります。
- ・心臓から送り出される血液が少ないためにみられる症状としては、体がだるい、疲れやすい、心臓がドキドキする（動悸）、手足が冷たくなる、チアノーゼ（血液中の酸素が低下して、皮膚・爪・口唇などが青紫色に見えること）、意識障害などがあります。
- ・血液の流れが悪くなり、肺や全身に血液がうっ血することによる症状としては、動いたときの息苦しさや下肢のむくみ、お腹が張ったりするなどがあります。



- ・平地の歩行では症状がなくても、坂道や階段を昇ったときや、重いものを持ったときに、息切れや呼吸困難、動悸が激しくなる場合には、心不全の初期の場合があるので、心臓を含めた検査を早めに医療機関で受けて下さい。



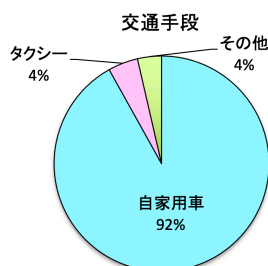
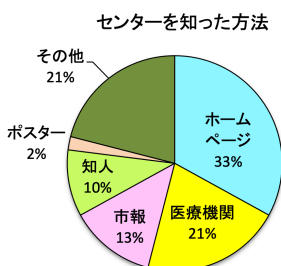
・強い息切れや呼吸困難が急にみられた場合、夜間の発作性呼吸困難や起坐呼吸（きざこきゅう：あお向けになって寝ると咳や息苦しさが見られ、体を起こすと楽になることをいう、右図）がみられる場合は、すぐに受診して下さい。



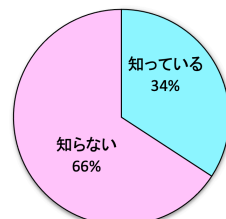
・急性心不全の原因として、急性心筋梗塞や不整脈、急激な血圧上昇などがあります。非常に強い息切れや動悸、呼吸困難、チアノーゼ（血液中の酸素が低下して、皮膚・爪・口唇などが青紫色に見えること）がみられる場合には救急車を呼んで医療機関を受診して下さい。心不全治療中の方で、このようなひどい症状がみられるようになった場合も救急車を呼んで医療機関を受診して下さい。

急患診療センター 窓口アンケート結果について

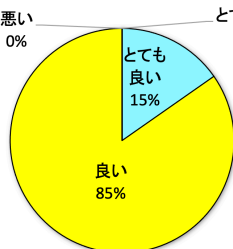
当センターでは、毎年受診された患者さんに窓口アンケートを実施しており、昨年10月12日～26日に実施した結果の一部を紹介します。総受診者数1,030名、回答者数336名、回答率は32.6%でした。受診のかたわらアンケートにご協力いただいた方に感謝し、今後の急患診療の質の向上に役立たせていただきます。



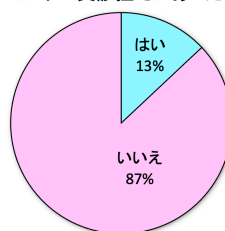
急患診療センターのホームページ



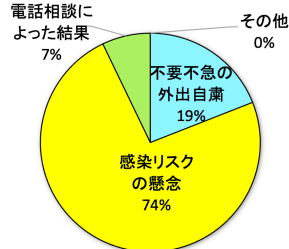
ホームページ内の救急疾患検索サイト



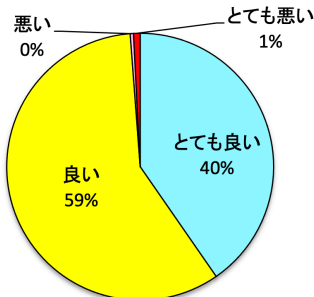
新型コロナで
センター受診控えがあった



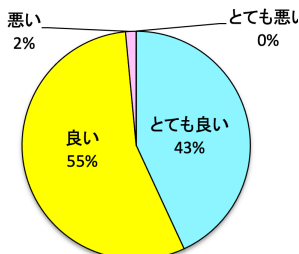
受診控えの理由



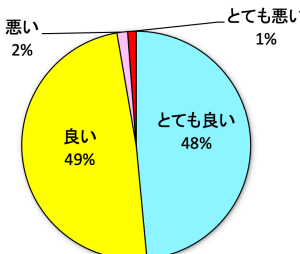
全体の満足度



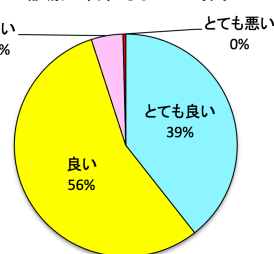
受付・会計の対応



医師・看護師・薬剤師の対応



診療が終わるまでの時間



Q & A（質問に答えて）

Q：急患診療センターでの診察の順番や待ち時間について教えてください。

A：診察の順番は診療科ごとに原則受付順です。しかし、急患診療センターという性格上、具合が悪くて一刻も早く診察する必要がある患者さんが多く受診されます。

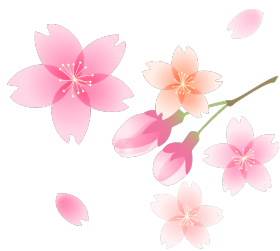
そこで、受診された患者さんの状態を、3年以上の救急医療の経験を有する看護師が評価し、基準に基づいて診療の優先順位付けを行う、院内トリアージを行っています。

「トリアージ」とはフランス語の「選別する」に由来し、重症度に基づいて、治療の順番、救急搬送の順番を決めることです。

トリアージの結果、緊急性があると判断された患者さんは優先的に診察になります。優先度としては直ちに診察する場合と順番を早くする場合がありますのでご協力をお願いします。また、診療科別に診察になりますので、混んでいる診療科は待ち時間が長くなります。

大型連休や年末年始になりますと、2～3時間以上の待ち時間になることもありますので、ご理解ご協力をお願いします。待っている間に具合が悪くなった場合や診察順に疑問がありましたら職員にお申し出下さい。

診療時間



★土曜日の在宅当番医

【産婦人科】

午後2時～午後6時
(当番医はホームページ
「新潟市産婦人科医
会」に掲載されます)

当番医は、当センター
にもお問い合わせでき
ます。

診療科目	診療日	診療時間
内科 小児科	平日	午後7時～翌日午前7時 (受付時間：午後7時～翌日午前6時30分)
	土曜	午後2時～翌日午前9時 (受付時間：午後2時～翌日午前9時)
	日曜・祝日	午前9時～翌日午前7時 (受付時間：午前9時～翌日午前6時30分)
整形外科	平日	午後7時～午後10時 (受付時間：午後7時～午後9時30分)
	土曜	午後3時～翌日午前9時 (受付時間：午後3時～翌日午前9時)
	日曜・祝日	午前9時～午後10時 (受付時間：午前9時～午後9時30分)
産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 脳外科	平日	診察はしていません
	土曜	診察はしていません
	日曜・祝日	午前9時～午後6時 (受付時間：午前9時～午後5時30分)



<急患診療センターの理念>

市民と共に
市民に信頼される
救急医療の継続提供をめざします

<理念の説明>

- ① 市民の理解と協力、支援により円滑な運営が可能になります
- ② 職員は、質の高い急患診療を提供できるよう努力いたします
- ③ 超高齢社会、医師不足のなか、診療体制の維持継続を行うことが必要です

あとがき

新型コロナウイルスの第5波が急速に減少したと思ったらさらに感染力の強いオミクロン株による大きな第6波に見まわられています。

今後は経済への影響と医療体制のバランスを考えながら制限緩和の方向に向かうと思われるので、自分の身は自分で守ることが大切になってきます。また、東日本大震災から11年目を迎えた直後に大きな地震に見舞われました。災害への備えもお忘れなく。

新潟市急患診療センター
ホームページ
<http://www.niigata-er.org>



新潟市医師会
救急疾患検索サイト
<http://www.niigata-er.org/search/>



小児救急ハンドブック
(新潟市)



発行：新潟市急患診療センター

〒950-0914

新潟市中央区紫竹山3丁目3番11号

TEL 025-246-1199